

昔から「困った時の神だのみ」などとよく言われますが、「健康で長生きできますように」と祈ることは他力ではなく「健康で長生きするぞ」と自分自身に言い聞かせる決意宣言でもあります。私たちは神社にお参りする時、自らの心を落ち着かせ、神様の手を合わせ、神様の御加護を感じることこそその決意を強くすることができます。それが日々を生き抜く原動力になるのです。

暗い気持ちになりがちです。今、世の中は感染の恐怖と不安で出口の見えない状況にあります。三密を避ける日常によって、孤独とストレスで人の心が荒れていると感じることが多く、

無病息災を感謝し、さらなる実りと神のご加護を祈念する大切な祭礼であることを踏まえながら皆様の健康、安全を第一に考えた結果であります。



閉塞感漂う今こそ、地域に寄り添う神社であるために
宮司 荻野正道

「コロナ禍の祈り」



このような時だからこそ、困難に立ち向かい前向きに生きるため、神様に「祈る」ということの意義を再認識しなければならぬのではないのでしょうか。今後も、皆様が安心して神社を訪れお参りができるよう感染対策を進め、地域に寄り添う神社でありたいと考えます。そして神社としての役割を果たすため、皆様方の知恵をお借りし、力を合わせて神社維持運営にあたっていききたいと思っております。

《御朱印》

「諏訪神社には二種類の御朱印があります」

「疫病退散」 「一日も早く疫病を退散させ、皆が集い笑顔で語り合える日が来るように」

この御朱印は、八相の八角形の中に「疫病退散」の文字を篆書体で表し、文字の描き方で、再起・家族・愛情・健康・交友の運気を開運へと導かんとする願いを込めています。

周囲には魔よけの意味を持つとされる麻の葉模様を施しました。麻の葉は成長が早いことから、お子様の健やかな成長を願い古来より愛されてきた伝統の模様です。

「諏訪獅子」 「諏訪神社の代表的特殊神事」

この御朱印は、諏訪神社のシンボルともいえる江戸時代から続く特殊神事「諏訪獅子」をモチーフにしたものです。

例大祭、越年祭などで神前に奉納され、神様を喜ばせ御神徳を高める役を担っています。

※御朱印は拝殿の箱の中にあります。御朱印にご自身で日付を記入しお持ち帰りください。篤志は小袋に入れ賽銭箱に入れてください。

「干支 赤べこ」 「一月のみの新年特別御朱印」

今回は干支の「牛」赤べこをモチーフにしました。

べことは牛を表す言葉で、疫病退散、無病息災等厄除けのお守りとして親しまれています。



初詣について

神社本庁策定の「神社に於ける新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に沿って実施します。詳細については「初詣の案内」を配布しますので、参考にしてください。三密を避けた安心・安全なご参拝をお願いします。



※諏訪神社氏子の皆様へ

諸祭儀のご要望には対応させていただきます。

・七五三・初宮詣・神前結婚式

出張祭（地鎮祭・上棟祭・家祈祷・神葬祭等々）

御祈祷（新車清祓・受験合格祈願・安産祈願等々）

諸祭儀のご要望等御用の方はお気軽に電話ください。

《編集後記》年間二回発行の予定です。氏子の皆さんから記事をお寄せいただきたく存じます。お宮に関する思い出やご要望・ご質問、お参り下さった感想など、何でも結構です。

【連絡先】 宮司・荻野正道(携帯) 090-9949-7988

フェイスブックに神社の最新情報をアップしています

坂本神社諏訪社で検索してみてください。

古代米の配布

例大祭に献上した古代米を小袋に詰め、参拝者にお持ち帰りいただけるよう拝殿に置いてあります。



◆ 幼児初宮詣り (十月吉日)

初宮詣とは、誕生後初めて神社に参ることでお宮参りともいわれています。お子様の無事の誕生を感謝し、健やかな成長と末長い神様の御加護を祈るとともに、新しい氏子の一人として認めてもらう儀式でもあります。

一般的には生後百日前後にお参りすると言われますが、その土地々や神社ごとに違いがあります。

当社では、例年秋の例大祭の日にこの一年に誕生されたお子様を中心に御祈禱を行ってきました。しかし様々な事情で他の日をご希望の場合でもご相談に応じています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策・三密回避のため例大祭当日の合同祈禱は取りやめ、個別で対応させていただきました。

お詣り頂きました皆様からお写真の提供、御意見をいただきました。
 「コロナ禍の中、今年は初宮詣ができないと思っていましたが、三密に配慮いただきながら無事にお参りすることができて嬉しく思っています。」

「お祭りもなく少し寂しい雰囲気でしたが、子どもの健康で元気な成長をお願い出来て良かったです。」

「これからも、子供の成長を神様に報告し、末永くお見守りいただけるよう神社を参拝したいと思えます。」

「諏訪神社で安産祈願をして頂き、無事出産、こうしてお宮参りも行うことが出来ました。」



祈念する歴史ある神事です。
 本年は二十九名のお子様がお参りされました。三密を避けるため、一回の神事の参加人数を減らし三回に分けて斎行しました。

◆ 七五三詣で (十一月八日)

昔は幼少期に亡くなる子どもが多かったので、子どもの親や家族たちは三・五・七歳の節目の年まで「元気に育ったことへの感謝」と「今後も無事成長できることへの祈り」のため近隣の神社(氏神様)にお参りに行きました。これが七五三の始まりと言われています。お子様のこれからの幸多き人生を願い、末永い氏神様のご加護を



令和二年度 環境整備事業

《災害復旧の実施》

・七月の集中豪雨で境内から駐車場に土砂が流出、神職氏子総代役員・OB会が協力して土砂の撤去作業を行いました。



・市に要望していた駐車場入口の道路側溝が整備され、安心して駐車場が利用できるようになりました。



新型コロナウイルス 感染症対策の実施

・感染防止に関する掲示パネル、疫病退散のぼり旗等を設置しました。
 ・祭事の際は手水舎の柄杓を使用せず、アルコール消毒、検温を行うこととしました。
 ・拝殿の本坪鈴(ほんつぼすず)の鈴緒に触れないように巻き上げました。

